

新型コロナ感染から町民の命とくらしを守る町政に 5月から 65歳以上の高齢者にワクチン接種が始まります

新型コロナウイルス感染拡大の第4波が心配されます。医療従事者に続いて介護関係者や65歳以上の高齢者の予防接種が始まります。役場から対象者へ「ワクチン接種券」が郵送されます。

内田たもつ議員は、新型コロナまん延防止のために、徹底したPCR検査など、コロナ対策の強化を求めてがんばっています。

南知多町でも

PCRの社会的検査を！

大規模な感染の防止を

日本共産党南知多支部と内田たもつ議員は、1月14日に続いて4月5日にも、石黒町長へ新型コロナ対策を強化する要望書を提出し、懇談しました。

ワクチン集団接種場所は

町総合体育館（豊浜）と両島だけ

ワクチン集団接種場所は、町総合体育館と篠島・日間賀島、個別接種は町内の7医療機関（4月5日現在）の予定。これでは、高齢者や障がい者などの移動困難な住民にとっては接種が困難です。

内田たもつ議員は、大字（内海・山海・師崎・大井・片名・豊丘）ごとにも、集団接種場所を設置するように要請しました。

また、産業まつりで実施しているように、**総合体育館へ町内各大字から臨時送迎バス**を出すこと、他市町にかかりつけ医（例えば、美浜町の知多厚生病院や浜田クリニック、渡辺病院など）を持つ住民は、そのかかりつけ医でも接種を可能とすることなども要請しました。

県の方針に従って、医師・看護師など医療従事者には、先行して接種が行われています。**大規模な感染を抑えるために**、介護関係従事者・保育士・小中学校教職員などにも、週1回程度のPCR検査体制の整備を求めました。

コロナのまん延を防ぐことは、住民の命とくらしを守るだけでなく、重要な地場産業である観光や農漁業の振興・発展のためにも欠かせない施策です。

お父さん、がんばって！ 東京の娘さんから応援メッセージ

父を一言で表すと「信念を貫く人」です。

故郷の南知多町を心から愛し、南知多町の明るい未来づくりを本気で考え行動する姿を、人として心から尊敬していますし、自慢の父です。

教員時代には子どもたちの声に向き合い続け、今は「町民の声」に耳を傾ける父を見て、必ず南知多町の明るい未来を町民の皆様と一緒につくり上げていけると確信しています。

プライベートでは、最近、煮豚やローストビーフ作りに挑戦しているみたいです。コロナ禍でなかなか会えないけど、今度、私にもつくってね！

（三女 愛 35歳 東京在住）

南知多町議会議員

内田たもつ



日本共産党



町長と懇談する内田議員（右手前）

